

令和8年3月9日

中野区長 酒井直人 様
中野区教育長 田代雅規 様

中野区障害者差別解消審議会
会長 綿 祐二

中野区障害者差別解消審議会の意見について

第3期第3回中野区障害者差別解消審議会において、次のとおり意見を取りまとめたので提出する。

1 障害者差別にかかる区の相談対応について

(1) 区で開放しているプール利用について

区で開放しているプールの利用にあたり、相談者の障害特性を考慮し、防水ワイヤレスイヤホンの装着を個別に許可したケースがあった。合理的配慮の提供として、適切な対応であると考え。一方で、防水ワイヤレスイヤホンを装着することで、外の音が聞こえず、衝突事故等が発生する可能性がある。そういった事故を防止する観点についても検討の上で、対応内容を決定することが望ましい。

2 区の啓発事業について

(1) 障害の理解促進・ふれあい交流事業について

非常に良い取組である。子どものうちから、障害のある方とふれあうことが当たり前になることで、インクルージョンの理解が深まる。

(2) ヘルプマーク・ヘルプカードの周知について

区内掲示板、本庁舎内のデジタルサイネージ、区ホームページだけでなく、子どものうちから理解を促すために、小学校や中学校にポスターを掲示するなどして周知を図ってほしい。

(3) ヘルプマーク・ヘルプカードの配布について

ヘルプマークやヘルプカードが普及していくことは好ましいが、必要のない人がヘルプマークを着用して電車の優先席に座るなど、不適切な利用のケースが存在すると聞く。必要な方にだけ行き届くような配布方法が検討できないか。